



平成18年5月期 第3四半期財務・業績の概況（非連結）

平成18年4月10日

上場会社名 山下医科器械株式会社
(URL <http://www.yamashitaika.co.jp/>)

(コード番号：3022 東証第二部)
本社所在都道府県 長崎県

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長
責任者役職・氏名 取締役総合企画部長

山下 尚登
吉本 晋治
TEL：(092) 726-8200

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
(内容)
① たな卸資産の計上基準 実地たな卸を行わず、当中間会計期間末の実地たな卸高を基礎とした帳簿たな卸高によっております。
② その他影響額が僅少なものにつき、一部簡便的な手続きを用いております。
- (2) 最近会計年度からの会計処理の変更の有無 : 有
役員賞与に関する会計基準を適用しております。
- (3) 持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成18年5月期第3四半期財務・業績の概況（平成17年6月1日～平成18年2月28日）

(1) 経営成績の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成18年5月期第3四半期	22,650	—	347	—	339	—
平成17年5月期第3四半期	—	—	—	—	—	—
(参考) 平成17年5月期	30,793		664		709	

	四半期(当期)純利益		1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
平成18年5月期第3四半期	181	—	81	46	—	—
平成17年5月期第3四半期	—	—	—	—	—	—
(参考) 平成17年5月期	379		652	02	—	—

- (注) 1 当社は平成18年5月期より第3四半期財務・業績の概況の開示を行っているため、前年同四半期実績および増減率については記載しておりません。
- 2 平成18年2月22日付で公募にて普通株式320,000株を発行し、発行済株式総数は2,538,000株となりました。
- 3 期中平均株式数 平成18年5月期第3四半期 2,226,205株 平成17年5月期 554,500株
平成17年9月12日開催の取締役会決議により、平成17年10月31日付で1株につき4株の株式分割を行っております。平成18年5月期第3四半期の期中平均株式数および1株当たり四半期純利益は、当該株式分割が期首に行われたものとして算出しております。なお、株式分割が前期首に行われたと仮定した場合の、平成17年5月期の1株当たり当期純利益は163円00銭であります。
- 4 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期におけるわが国の経済は、不安定な国際情勢および原油価格の高騰等、懸念材料がある一方、企業収益の改善を背景に、国内企業の設備投資が増加するなど景気全体は緩やかな回復基調に転じ始めました。個人消費についても堅調な推移を見せております。

医療機器業界においては、平成18年4月施行予定の診療報酬引下げや医療材料の償還価格改定に関する報道等に見られるように、医療費抑制政策のいっそうの進行が予想されるとともに、平成17年4

月に施行された改正薬事法により、医療機器の製造、販売、賃貸等業態の如何に関わらず、トレーサビリティをはじめ、厳格な安全および品質管理体制の構築が義務付けられました。

このような経営環境下において、当社は、I S Oによる品質マネジメントシステムを援用し、医療機関の経営効率化に寄与する商品・サービスの提供に努め、同業他社との差別化を図りシェア拡大を目指してまいりました。

この結果、当第3四半期の売上高は226億50百万円、経常利益は3億39百万円、税引後四半期純利益は1億81百万円となりました。

なお、当第3四半期における事業部門別の売上高は、以下のとおりであります。

(百万円未満切捨)

事業部門		当第3四半期		(参考)平成17年5月期	
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
医療機器部門	一般機器分野	3,999	17.6	7,270	23.6
	一般消耗品分野	11,218	49.5	13,773	44.7
	低侵襲治療分野	4,927	21.8	7,107	23.1
	メディカルサービス分野	1,836	8.1	2,085	6.8
	小計	21,981	97.0	30,237	98.2
医療情報部門		668	3.0	556	1.8
合計		22,650	100.0	30,793	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

〈医療機器部門〉

一般機器分野ではC Tスキャン等の画像診断装置、低侵襲治療分野では内視鏡システムのV P P (Value Per Procedure 症例単価払い方式)、メディカルサービス分野では新規開業事業など、医療経営支援につながる営業活動を強化してまいりました。また、Web版物品管理システムやOEM商品を活用して、一般消耗品の安定した売上拡大に努めました。この結果、売上高は219億81百万円となりました。

〈医療情報部門〉

医療事務用コンピューターの買換え需要を確実に獲得し、電子カルテの販売拡大に努めました。この結果、売上高は6億68百万円となりました。

(2) 財政状態の変動状況

(百万円未満切捨)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
平成18年5月期第3四半期	12,163	4,996	41.1	1,968	84
平成17年5月期第3四半期	—	—	—	—	—
(参考)平成17年5月期	11,916	4,030	33.8	7,236	23

(注) 1 当社は平成18年5月期より第3四半期財務・業績の概況の開示を行っているため、前年同四半期実績および増減率については記載しておりません。

2 平成18年2月22日付で公募にて普通株式320,000株を発行し、発行済株式総数は2,538,000株となりました。

3 平成17年9月12日開催の取締役会決議により、平成17年10月31日付で1株につき4株の株式分割を行っております。平成18年5月期第3四半期の1株当たり株主資本は、当該株式分割が期首に行われたものとして算出しております。なお、株式分割が前期首に行われたと仮定した場合の、平成17年5月期の1株当たり株主資本は1,809円05銭であります。

【キャッシュ・フローの状況】

(百万円未満切捨)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
平成18年5月期第3四半期	百万円 △208	百万円 △197	百万円 700	百万円 1,691
平成17年5月期第3四半期	—	—	—	—
(参考) 平成17年5月期	910	△271	△230	1,397

(注) 当社は平成18年5月期より第3四半期財務・業績の概況の開示を行っているため、前年同四半期実績および増減率については記載しておりません。

〔財政状態の変動状況に関する定性的情報等〕

① 財政状態の変動状況

当第3四半期の流動資産は、81億89百万円となり、前会計年度末に比べて2億36百万円増加いたしました。主な要因としては、新株発行による調達資金の増加等により、現金及び預金が2億94百万円増加したことによるものであります。

固定資産は39億73百万円となり、10百万円の増加となりました。

流動負債は68億1百万円となり、6億80百万円の減少となりました。主な要因としては、前会計年度に増加した仕入債務の支払による支払手形の減少があったこと等によるものであります。

資本合計は49億96百万円となり、9億66百万円の増加となりました。主な要因としては、公募増資により資本金が2億99百万円および資本剰余金が4億74百万円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前会計年度末に比べて2億94百万円増加し、16億91百万円となりました。

当第3四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

〈営業活動によるキャッシュ・フロー〉

営業活動の結果使用した資金は、2億8百万円となりました。主な要因としては、売上債権が3億17百万円減少したものの、仕入債務が7億41百万円減少したことおよび法人税等の支払額が2億15百万円となったことによるものであります。

〈投資活動によるキャッシュ・フロー〉

投資活動の結果使用した資金は、1億97百万円となりました。主な要因としては、メンテナンスセンターの開設および多機能ショールームの増設等による有形固定資産の取得による支出が1億58百万円あったことによるものであります。

〈財務活動によるキャッシュ・フロー〉

財務活動の結果得られた資金は、7億円となりました。主な要因としては、新株発行による収入が7億73百万円、長期借入金の返済による支出が40百万円および配当金の支払額が33百万円とあったことによるものであります。

3. 平成18年5月期の業績予想(平成17年6月1日～平成18年5月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
通 期	百万円 31,750	百万円 719	百万円 385

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 167円07銭

- (注) 1 平成18年5月期の1株当たり予想当期純利益(通期)は、平成18年3月28日付の第三者割当増資による発行新株式15,000株を加味した期中平均発行済株式数に基づいて算出しております。
- 2 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、業績予想と異なる場合があります。

[業績予想に関する定性的情報等]

業績はおおむね計画通りに推移しており、通期の業績見通しにつきましては現時点での変更はありません。

○ 添付資料

1. (要約) 四半期貸借対照表
2. (要約) 四半期損益計算書
3. (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

以 上

[添付資料]

当社は平成18年5月期より第3四半期財務・業績の概況の開示を行っているため、以下添付資料では前年同四半期は記載しておりません。

1. (要約) 四半期貸借対照表

区分	当四半期 (平成18年5月期 第3四半期末)		(参考) 平成17年5月期	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(資産の部)				
I 流動資産				
1 現金及び預金	1,691,685		1,397,154	
2 受取手形	510,830		635,825	
3 売掛金	4,364,789		4,557,203	
4 たな卸資産	1,374,663		1,249,407	
5 その他	247,834		113,541	
流動資産合計	8,189,804	67.3	7,953,133	66.7
II 固定資産				
1 有形固定資産				
(1) 建物及び構築物	1,044,271		1,064,791	
(2) 土地	1,893,217		1,893,217	
(3) その他	209,882		249,506	
有形固定資産合計	3,147,371	25.9	3,207,515	26.9
2 無形固定資産	78,210	0.7	75,576	0.7
3 投資その他の資産	747,730	6.1	679,914	5.7
固定資産合計	3,973,313	32.7	3,963,006	33.3
資産合計	12,163,117	100.0	11,916,140	100.0

区分	当四半期 (平成18年5月期 第3四半期末)		(参考) 平成17年5月期	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(負債の部)				
I 流動負債				
1 支払手形	3,839,876		5,017,050	
2 買掛金	2,335,439		1,953,002	
3 その他	626,235		511,794	
流動負債合計	6,801,550	55.9	7,481,847	62.8
II 固定負債	364,649	3.0	403,602	3.4
負債合計	7,166,199	58.9	7,885,450	66.2
(資本の部)				
I 資本金	480,000	3.9	180,800	1.5
II 資本剰余金	605,360	5.0	130,800	1.1
III 利益剰余金	3,755,710	30.9	3,625,840	30.4
IV その他有価証券評価差額金	155,846	1.3	93,249	0.8
資本合計	4,996,917	41.1	4,030,689	33.8
負債及び資本合計	12,163,117	100.0	11,916,140	100.0

2. (要約) 四半期損益計算書

区分	当四半期 (平成18年5月期 第3四半期)		(参考) 平成17年5月期	
	金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)
I 売上高	22,650,171	100.0	30,793,866	100.0
II 売上原価	19,418,037	85.7	26,444,887	85.9
売上総利益	3,232,133	14.3	4,348,979	14.1
III 販売費及び一般管理費	2,884,637	12.8	3,684,512	12.0
営業利益	347,496	1.5	664,466	2.2
IV 営業外収益	35,359	0.2	50,687	0.2
V 営業外費用	43,300	0.2	5,600	0.0
経常利益	339,554	1.5	709,553	2.3
VI 特別利益	84	0.0	420	0.0
VII 特別損失	—	—	26,277	0.1
税引前四半期(当期)純利益	339,638	1.5	683,695	2.2
法人税、住民税及び事業税	206,388	0.9	273,283	0.9
法人税等調整額	△48,089	△0.2	30,667	0.1
四半期(当期)純利益	181,339	0.8	379,744	1.2
前期繰越利益	461,870		433,596	
四半期(当期)未処分利益	643,210		813,340	

3. (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	当四半期 (平成18年5月期 第3四半期)	(参考) 平成17年5月期
区分	金額(千円)	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
1 税引前四半期(当期)純利益	339,638	683,695
2 減価償却費	128,177	167,064
3 引当金の増減額(減少:△)	120,802	△60,309
4 売上債権の増減額(増加:△)	317,408	72,447
5 たな卸資産の増減額(増加:△)	△125,255	△146,445
6 仕入債務の増減額(減少:△)	△741,597	673,186
7 その他(減少:△)	△31,627	△116,842
小計	7,546	1,272,795
8 利息及び配当金の受取額	588	3,344
9 利息の支払額	△1,606	△5,064
10 法人税等の支払額	△215,457	△360,668
営業活動によるキャッシュ・フロー	△208,928	910,407
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
1 有形固定資産の取得による支出	△158,026	△212,139
2 無形固定資産の取得による支出	△14,798	△55,246
3 その他(減少:△)	△24,205	△4,076
投資活動によるキャッシュ・フロー	△197,030	△271,461
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
1 長期借入れによる収入	—	100,000
2 長期借入金の返済による支出	△40,000	△300,368
3 株式発行による収入	773,760	—
4 配当金の支払額	△33,270	△30,179
財務活動によるキャッシュ・フロー	700,490	△230,547
IV 現金及び現金同等物の増加額	294,531	408,398
V 現金及び現金同等物の期首残高	1,397,154	988,756
VI 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	1,691,685	1,397,154